

茨城県第 4 採択地区教科用図書選定協議会

会長 鈴木 由美

教科	発行者の番号・略称 教科書名	事 由
国語	2 東書 新編 新しい国語	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「読むこと」の領域の単元を中心として、単元の導入に「学びの扉」や巻末に「学びを支える言葉の力」を配慮している。 ○ 「話す・聞く」での交流活動では、具体例が示されたり、話合いの可視化をしたりするなど工夫した交流活動が配慮され、表現力を伸ばし高めることができる。 ○ 「読むこと」の領域では、説明的な文章の比べ読みを通して、生徒の多面的な考えを培う教材であり、年表や図、グラフや写真などを対応させている。 ○ 古典の導入は身近な話題であったり、写真が多く掲載されていたり、様々なジャンルの作品が取り上げられ、伝統的な言語文化に親しむことができるよう工夫されている。 ○ 「学びを支える言葉の力」のページで、「読むこと」「話すこと・聞くこと」「書くこと」の領域に共通して必要となる基礎的な知識・技能を身に付けることができるよう工夫されている。 ○ 古典の学習では、作品に紹介文や解説文を添えたり、絵巻などの資料を豊富に示し、視覚的に作品の世界観を深く味わえるよう配慮されている。 ○ 自主的・主体的な学習活動ができるよう、「てびき」に目標を示し、「読み取る」「考えを深める」において具体的な視点を設けている。 ○ 「読むこと」の教材が多く、単元の導入として位置付けた教材をもとに他領域と関連させながら言語活動を展開させている。 ○ 文学的な文章は常体が多く、説明的な文章は常体・敬体の文章がバランスよく掲載されている。 ○ 領域ごとに色が統一されている。